

引戸錠に関するQ&A

Q1

現在サムターンタイプを使用しているのですが、操作しやすいレバータイプに交換できますか？

A1

エスカッションの掘込加工が同じであれば、交換できます。
錠・角芯サイズが同一のため、エスカッションのみの交換が可能です。
詳しくは弊社販売部、「垂吐夢金物館」または「ATOM住まいの金物ギャラリー 大阪」へお問い合わせください。

Q2

鎌錠を選択する時の注意点を教えてください。

A2

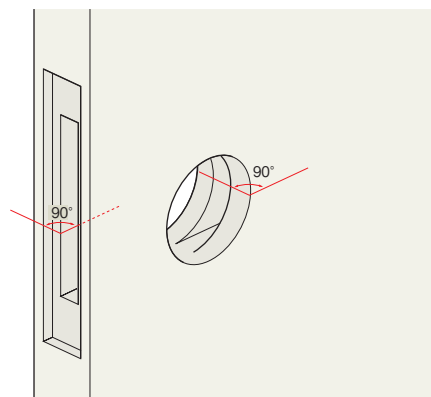
- ① 弊社の鎌錠はすべて屋内木製引戸用です。防犯性を求められる外周りの引戸には使用できないことをご承知ください。また、浴室などの水周りも使用できません。
- ② 対応戸厚をご確認ください。
- ③ バックセットが51mmのものと30mmのものとがあります。芯材の寸法に合わせてお選びください。
- ④ 鎌がロックするか否かで選択してください。
- 鎌がロックするタイプが必要な場合は、CK錠などのシリンダータイプを選択してください。
- 鎌がロックしないタイプでよい場合は、それ以外のものから選択してください。
- ⑤ エスカッションの種類の中からお気に入りのものを選んでください。

Q3

戸の掘込加工を行う手順と注意点を教えてください。

A3

- ① 初めに、エスカッションを取付けるための貫通穴加工を行います。穴加工は、必ず両面から加工を行うようにしてください。ただし、個室錠の場合は片側のみ穴加工をしてください。また、掘込穴の軸芯が戸の表面に対し直角になるように加工してください。
- ② 次に、ケースの掘込加工を行います。
フロントが木口面から極端に沈まないように、一度で仕上げるのではなく、何度かに分けて確認しながら徐々に作業を進めてください。ねじで取付けるため、余裕をもった寸法で加工した方が納まりが良くなります。



※TKS51チューブラ鎌錠の個室錠（113、114、115、120 ページ）、KLD51・KLD30ケース鎌錠の個室錠（123、124 ページ）は、片側のみの穴加工です。CK51・CK30ケース鎌錠（130 ページ）のエスカッションを片面のみ取付ける場合も、片側のみの穴加工です。貫通穴ではありませんので、ご注意ください。